

【資料2-4】

平成28年度 第二回 住みよいまちづくり部会報告

平成28年8月29日（月）14:00～15:30

さいわい福祉センター 会議室

1 市報コラムについて

<障害福祉課>

今までのコラム掲載分は団体名と執筆者を載せていたが、希望に応じて団体名のみ
の掲載も可能とする。また、引き続きコラムを掲載させていく。

2 市民への啓発・周知活動（ちらし・ポスター）について

<障害福祉課>

- ・前回の会議を踏まえ、ちらし・ポスターの素案を二つ用意した。

A案、車いすの青年に町の風景で中央上部に障害者差別解消法の説明文

B案、中央に大きいハートの木と背景に建物。下部に障害者差別解消法の説明文。

ポスター兼ちらしの表紙とするならばどちらがよいか？

【意見】

- ・ポスターとするならばA案の方が良い。ただし、青年の背景となる建物の『HOTEL』の文字を消すか変えることはできないか？

<障害福祉課>

- ・イラストの一部変更は難しいと思われるがデザイナーへ確認してみる。

【意見交換】

- ・ポスターのタイトルが『障害者が住みよいまちづくりにご協力ください』となっているが、『障害者が』と強調するのではなく、ちらし裏面の障害者週間の面に書いてあるような『障害のある人となない人がともに暮らしやすいまちづくり』などやわらかい表現にすべきである。

また、裏面に記載されている合理的配慮の説明文（社会的障壁など難しい言葉は避ける等）を分かりやすくした方がよいのではないか。聴覚障害者の事例でイラストが親切にしてもらっているのに困り顔は変である。また、車いすの事例（事例：車いすを理由にバス乗車拒否をされた。）は、現在改善されつつあるので、別な（市民が手助けをしてくれているような）事例がいいのではないか。再度構成し変更や追加をしていくべきでないだろうか。

◇次回、部会までに今日の意見を踏まえて素案を再作成する。

3 その他（いつとき避難場所と聴覚障害者の数）

災害時の聴覚障害者の避難等について話し合った。平成 25 年 9 月時点で市内に 327 人の聴覚障害者が在住である。

<意見>

- ・災害時、聴覚障害者はどのように避難をし、どのように情報を得たらよいか？また市はどこまで対応できるのか知りたい。

<障害福祉課>

- ・避難所の運営は、自主防災組織や地域の自治会などの地域住民の協力を経て『避難所運営協議会』を各避難所に設置することとなるため、市職員が避難所運営まで行うことは難しい。また、現時点で運営協議会が定まっているところは、僅かである。

【意見交換】

- ・昨年時の部会において、避難所を 4 ブロックごとに分けてそこへ手話通訳者と聴覚障害者を避難させる案があったが、実際のところ手話通訳者も被災者であり遠くの避難所へ行くことは難しいと思われる。そこにいる避難者で運営していくことになるだろう。
- ・聴覚障害者の方は見た目だけでは分かりづらいため、また避難した手話通訳者にも分かりやすいようゼッケン等をつけるのはどうだろうか。
→ゼッケンはあまりにも目立つのでバンダナはどうか？ただ、バンダナは他障害者も使用されていることがあり、災害緊急時に障害ごとにバンダナの色を覚えるのは難しいのではないかと。次回も引き続き部会にて検討していく。

4 その他

部会の意見を取り入れながら市民の目に飛び込んでいくようなポスター・ちらしを作成していく。また、聴覚障害者の避難計画がモデルケースとして実施されることにより、他障害者にも生かされるよう引き続き検討していく。

- ・次回部会 日時：9月29日（木）14：00～ 場所：さいわい福祉センター会議室
議題：1 市民への啓発・周知活動（ちらし・ポスター）について
2 その他